

里帰り出産をご希望の方へ

産婦人科常勤医および小児科常勤医が増えたことにより、当院での里帰り出産の受け入れを再開することになりました。下記内容を確認した上で、ご連絡を頂きますようお願いいたします。

- ・原則、妊娠20週までに直接来院いただける方
- ・当院は基本的にローリスクな妊娠・分娩のみ対応しております。
- ・骨盤位・横位の場合、以前の分娩が帝王切開だった場合は予定帝王切開となります。
- ・当院は臨床研修施設であり、研修医や医学生、助産師学生、看護学生が関わる場合もあります。

以下の文章もお読みください。

1) 里帰り出産を希望される方へ

当院は総合病院ですが、周産母子センターではありません。ハイリスク妊娠・分娩の対応が難しい場合があります。妊娠35週未満の早産が避けられないと思われる場合には、周産期センターへの母体搬送となります。従って、里帰り出産を希望される方を受け入れる際には基本的にローリスク妊娠と思われる方のみをお受けしております。しかしながら、順調と思われた妊娠・出産でも急変する場合があります。緊急帝王切開や緊急母体搬送、新生児搬送など。遠いところからの里帰り分娩の場合には、そのようなときに一番いて欲しいパートナーの方が不在である場合も予想されます。新生児搬送となった場合、搬送先によっては祖父母では検査承諾の書類が書けませんので、急遽来ていただくこととなります。出産の瞬間を立ち会うことが出来ない、分娩や産後のつらい時間を共有できないのも残念なことです。そのような問題点も里帰り出産にはあるということをお二人で話し合った上で里帰りをされるか決めて頂くことをお勧めします。もし陣発時の交通手段や産後のサポートがないことを不安に思われているようでしたら、かかりつけの病院や地域の保健センター等にご相談いただくといろいろな情報を得ることが出来ます。実家に帰るのではなく、自宅に来てもらうという方法もあると思います。また、地域によっては実家の援助を受けられない方へのサポートが充実している場合もあります。ネットスーパーや生協などの利用で、日常の生活はどうかになることも多いです。ご夫婦を中心として、新しい生活を始めることを再考していただければと思います。もちろん、いろいろお考えの上で当院での里帰り出産を希望される場合にはご連絡ください。

2) 当院で対応が難しいハイリスク妊娠・分娩の例

多胎（双胎を含めて）、前置胎盤・低置胎盤、帝王切開が3回以上、インシュリン治療が必要な妊娠糖尿病、高度肥満の方（BMI 30以上）、重症妊娠高血圧症候群、子宮内胎児発育遅延（36週で2000gに満たない場合）、内科合併症（一部）、精神疾患やてんかん等で内服治療を行っている方、その他かかりつけ医より周産期センターでの出産を勧められている場合 また、以前の妊娠出産時に重篤な合併症を発した方 など

3) 予約方法

かかりつけ医で予定日が決まったら、つくばセントラル病院の産科外来にお電話ください。外来が開いている時間（月～土曜9時から12時まで）にお電話をお願いします。

4) 受診方法・時期

原則、妊娠20週までにかかりつけ医の紹介状を持参の上、当院の産科外来を受診してください。母子の状態によっては当院では対応できない場合もあります。ご了承ください。

妊娠33～34週ごろより、当院での健診をお願いします。

前医での検査結果を参照しますが、当院で再度検査する項目があります。ご了解ください。

*もう既に20週を超えている方は、まずお電話でお問い合わせください。対応できそうな場合にはなるべく早い時期に紹介状持参で直接、当院外来を受診して頂きます。